

財務委員会

担当理事：芳野純治

委員：斎藤 博、森山光彦、依田芳起

委員会開催：2回

1. 2014年度財務諸表の確認と審議

2. 2016年度予算

本部の予算、7支部予算の審議

1) 本部

○事業活動収入について

- ・正会員の減少及び学術集会（参加費、協賛、展示収入）における減収を見込んでいる。
- ・一般会員の増加、新規事業（認定技師研修会）により増収を見込んでいる。

以上の結果、280万円余減収となる見込みである。

○事業活動支出について

- ・総会予算にて臨時雇賃金及び会議費、通信費は増加を見込んでいる。
- ・全国集計調査プログラム追加変更により無形固定資産を計上した。
- ・給与手当は入力要員削減により減少を見込んでいる。
- ・総会予算にて旅費交通費、消耗品は削減を見込んでいる。
- ・管理費は概ね、昨年度実績にて計上し、管理費より必要諸経費はそれぞれ事業費に配賦した。
- ・特定積立預金を630万余取崩し、全国集計プログラム再構築費用及び技師研修会の費用に充てることとした。

以上の結果、収支予算では700万円余マイナスとなり、損益ベースでは正味財産期末残高は1千150万余のマイナスを見込むこととなった。

2) 支部

○収入について

支部運営経費は会員数による本部からの補助金が主収入となる。ただし、一部の支部で賛助会費を徴収している。

○支出について

支出は地方会、各種研修会の運営に伴う用途が主体であり、概ね昨年度実績を参考に計上されているようだ。

3. 全体の収支について

会計顧問より、学会の資産減少により、支部補助金の見直しや収入増に結びつく対応を講じる必要があるとの指摘があり、全体の予算案を検討した結果、支部補助金を減額することとした。

また、事務効率化と費用削減のため、全国集計 Web 化や機関誌 on-line 化について実現に向けた検討を促すこととした。